

挨拶

広島大学経済学部附属

地域経済研究センター長 櫛本 功

地域経済研究センター長を務めます櫛本でございます。
本日は第5回の研究集会を開催しましたところ、かくも
多数お集まりいただきまして大変ありがとうございます。
私ども地域経済研究センターは平成元年生まれでして、
丁度今年が5年目ということになります。毎年研究集会
あるいはシンポジウム等々、1年に3回位こういう会を
催しておりますが、いつもお世話になっておりますこと
をあらためて感謝申し上げます。



私どもの地域経済研究センターは二つの旗印を持っております。一つは「地域は地域で考える」でございます、従来私どもの地域も東京等の中央からいろんなご助言を賜りまして、地域の活性化に貢献していただいたわけですが、もとより将来とも中央の素晴らしいご忠言は賜らなければなりません、やはりそうは言っても地域について一番詳しいと申しますか、問題点を知っているのは地域の人々ですから、先ず地域は地域で考えるというのが基本であろうと思います。そしてそれに中央あるいは他の地域からのご助言を賜って、より良い地域にしたいというのが一つの旗印でございます。いま一つは私どもは文部省の一つの組織には違いございませんが、そうは言いましても私どもの力にも限界がございます。やはり学だけではなく、産・官のお知恵をいただいて、私ども学の方も共々一緒に勉強して行けば、より良い事になるのではないかと考えます。二つの旗印として、「地域は地域で考える」と「産官学の連携」を掲げまして、今年で5年目を迎えるところでございます。

本日は札幌広福のテーマで、そして明日もシンクタンクの方々のご報告を賜りますが、昨年までは、研究集会も私どもの地域経済研究センターと、先程の中島さんが会長をされています地域経済研究推進協議会の二つで主催をしておりました。ところが今年、経済同友会の諸井会長さんのところで、「地方活性化への提言ー地方都市の機能と自立力の向上を目指してー」というご報告を発表されました。これを拝見しまして大変感激をしまして、今年の私どもの研究集会では、是非とも諸井会長さんに基調講演をお願いしたいと計画を練っておりました。ところがやはり偉大なる人物を、人さまも見逃すわけもございませんで、広島経済同友会の方でも同じく諸井会長の基調講演をお願いして会を開こうという計画がありました。そこで、どちらが諸井会長さんを奪うかということになりました。私どもの方が時期的に早かったようですが、そうは言っても喧嘩してもしよ

うがありません。そこでそれでは広島経済同友会さんと私どもの方で共催という形にしようということになりました。諸井会長さんも何度も広島にお運びいただくわけにもいかないでしょうから、共同でお呼びして経済界の方々にお集まりいただくということで、中国経済連合会さんにも主催に加わっていただいた次第でございます。

今日は基調講演を諸井会長さんをお願いし、且つこれをベースにして札幌・広島・福岡の経済人の方々にパネル討論会を賜わり、これによりまして地域の活性化を考えて行こうということです。明日は中国地方それから四国地方のシンクタンクの方々に、討論を含めましてそれぞれ1時間ずつのご報告を賜ることになっています。シンクタンクの方々のお互いの研究報告会というのはあまり無いそうですから、私どもセンターがお役に立てばと考えております。いわば共同で勉強しようということで、明日もまた会を開きますので、是非とも明日もまた本日のようにたくさんお集まりいただければ有り難いと思うわけでございます。何れにしましても本日も5時半まで、非常に長丁場でございます。ぜひとも熱心なご聴取をいただきまして、できれば途中でフロアの方々からのご質問もいただける時間があればと思っておりますので、是非とも積極的なご参加をお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。宜しくお願いいたします。